

中国鉄鋼、設備過剰重く

【上海＝菅原透】世界の粗鋼生産量の約半分を占める中国の鉄鋼業界が過剰生産能力の重荷に沈んでいる。業界団体によると、2012年は主要23社で赤字に陥り、その合計額は約290億元（約4300億円）に達した。鉄鋼市況は足元では回復の兆しもあるが、赤字でも再編や設備過剰の解消は今年も進みそうにない。地方経済の屋台骨の鉄鋼メーカーを地方政府が支える構造問題を抱えているからだ。

中国鉄鋼工業協会によ、12年12月期の業績見通ると、宝钢集団（上海市）が苦境ぶりを示す。国など主要80社の昨年の実現利潤（税引き前利益に相当）は15億8100万、鞍鋼は41億6000万元と前年から98・2%減の最終赤字の見込み。国少した。2ヶタ減益は金有上場企業、馬鞍山鋼鐵融危機で世界景気が急減（安徽省）も37億2千万速した09年（31・4%減）39億5千万元の最終赤字以来となる。宝鋼集団傘

主要23社の昨年、赤字4300億円

地方政府、解決先送り

下の宝山鋼鐵も営業利益は6割の減益を見込む。●鋼材価格が下落

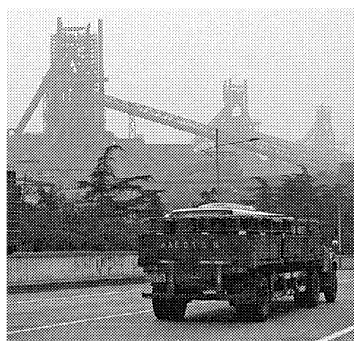
家電や造船など工業製品の販売不振で中国の鋼材市況は低迷。自動車や家電向け鋼板の母材となる熱延コイルは昨夏までの半年で2割安の1ト約3400元まで下落した。中国鉄鋼工業協会が昨年春、からインフラ投資の認可ペースを速めるなどして、景気をこ入れに動き

出したことで、昨年9月の販売不振で中国の鋼材市況は低迷。自動車や家電向け鋼板の母材となる熱延コイルは昨夏までの半年で2割安の1ト約3400元まで下落した。中国鉄鋼工業協会が昨年春、からインフラ投資の認可ペースを速めるなどして、景気をこ入れに動き

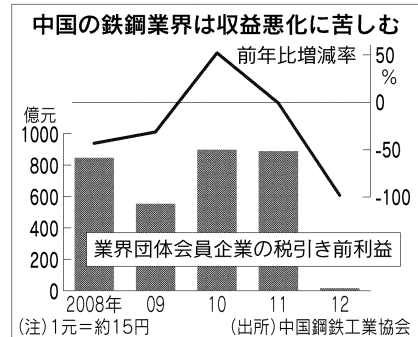
背景には設備過剰がある。中国では08年の金融危機後に打ち出した政府の4兆元規模の景気対策で鉄鋼業界が設備投資を積極化。UBS証券の鉄鋼アナリスト、唐駿波氏によると、中国の粗鋼生産能力は12年時点で8億7300万トと09年比で2割近く増えている。

●赤字企業に融資 厳しい環境下に置かれる中国勢だが危機感はない。地元経済への貢献を期待する地方政府は国鉄鋼メーカーを支援、金融機関も赤字企業への融資をいとわないから

計上、韓国ポスコも4割近い減益に陥っている。構造的な設備過剰問題を抱える中国で価格が落ち込めば、「中国発・鉄鋼不況」の波が広がりかね



宝鋼集団の業績も悪化している（上海市内の高炉）



中国工業情報化省は景気底入れで13年の中国の粗鋼生産量が12年比5%増の7億5千万ト前後と予測する。伸び率は12年実績の3・1%を上回る見通しだ。それでも設備過剰の解消には程遠い。

原材料となる輸入鉄鉱石の価格上昇も重荷となる。昨秋ごろから在庫積み増しの動きが強まり、1月末には1トあたり150ドル（約1万4100円）前後と昨年9月比で4割上昇した。「イ

受け、収益回復の期待もない。ひとたび需要が回復すれば、余剰能力を使って増産に走り、再び鋼材価格が下落しかねない。海外勢への影響も無視できない。新日鉄住金など日本勢は円安の恩恵を受け、収益回復の期待も